

**(参考3) 各重点領域における
重点課題及び重点投資課題
(案)**

重点領域名： 脱温暖化社会の構築

凡例：

重要
課題

重点投資
課題

政策目標

第一約束期間(2012)の削減目標達成 [短期]

ポスト第一約束期間の削減目標設定 / 達成 [中期]

温室効果ガス濃度の安定化 [長期]

京都議定書発効(2005)

第一約束期間(~2012)

過去5年間

現在

今後5年間

20~30年後

50年将来

研究開発の成果 / 課題 / 目標

カテゴリー

成果例

温暖化の観測・モニタリングによる原因物質、温暖化影響の変動そのメカニズム解明及び高精度な予測モデルの開発

・GHGの自動連続高精度モニタリング技術の開発、実施
・航空機、船舶、地上でのモニタリング
・気候モデルによる全球高分解能予測
・真夏日、豪雨、干ばつ等の予測

総合的な温室効果ガスモニタリング体制の確立

例：衛星による温室効果ガス観測、二酸化炭素の収支の観測等

アジア太平洋地域の気候変動影響モニタリング・評価ネットワークの確立

気候モデル、気候変動影響予測の高精度化と気候変動リスクの管理手法、適応策の検討

脱温暖化社会のための政策研究、温暖化対策の評価

・アジア太平洋統合評価モデル(AIMモデル)の開発
・バックキャストングアプローチによる政策研究

脱温暖化社会のデザイン研究
政策評価モデルの研究

例：アジア太平洋地域における温暖化緩和・適応政策評価モデルの開発
CDM、再生可能エネルギー等の温暖化対策の評価、経済的手法の評価

CDM・技術転移を通じたアジアの低CO2排出化の実施方策の研究

対策技術の開発 / 実用化

技術シナリオ策定

ロードマップ

技術開発・改良、技術導入・普及拡大、関連インフラ整備、社会システムの研究

各種省エネ技術の開発 / 実用化

・コージェネレーション
・ハイブリッド自動車
・高効率HP

例：ハイオマス利活用技術、廃棄物からのエネルギー生産技術等

省エネ、カスケード利用技術・システムの開発・導入

例：ハイブリッド自動車車種拡大、高効率HP、高効率コージェネレーション、天然ガスシフトの加速

各種再生可能エネルギー技術の開発

・PV(太陽光発電)の導入
・風力発電の導入

再生可能エネルギー導入技術の開発・再生可能エネルギーのための技術開発、制度研究

例：バイオ燃料大量普及、PV低コスト化、洋上風力発電等

水素・ITなど新しい技術の実用化

・家庭用燃料電池試行市場投入
・BEMS

水素・燃料電池など新しい社会システムの技術開発・導入

例：定置用燃料電池、燃料電池自動車、水素製造・貯蔵輸送技術、分散型エネルギーネットワーク、Uビキタ社会、ESTの導入

炭素固定技術の開発

・大規模発生源からのCO2回収、貯留、吸収源の管理等に関する技術の開発

炭素の固定・貯留、森林等吸収源増大技術の開発・導入

例：地中・海洋貯留、森林・農地等の吸収源の制御技術の開発等

対策技術の導入・普及

・ハイブリッド自動車、太陽光発電等の導入

新たな対策技術導入のための社会システム研究、経済的手法の研究

非CO2温室効果ガス削減対策

・フロン製品・技術の開発・普及

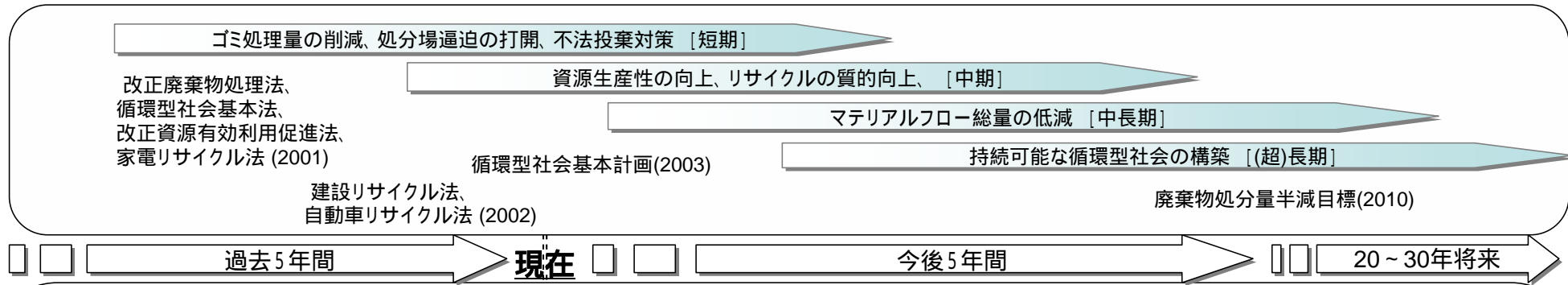
含ハロゲン温室効果ガス削減対策技術の開発、導入、評価研究

例：フロン冷媒の開発、フロンガス削減の効果の研究・国際メカニズムの研究等

革新的脱温暖化技術の開発、地球規模の普及

脱温暖化社会完全移行のための社会変革

政策目標



研究開発の成果/課題/目標

